

全国フェミニスト議員連盟について

あまりにも少ない女性議員を増やしていくため、1992年に全国の市民や議員がつくった会員組織です。「女性議員を50%に」という目標を掲げ、女性ゼロ議会をなくすキャンペーン、女性議員増を求めているロビー活動、女性候補・議員の支援、サマーセミナーやパワーアップ集中講座などの政策研究も続けています。政治分野における男女共同参画推進法施行により、国や地方自治体も女性議員を増やすための努力を進めることになりました。この動きを加速させるための活動をさらに続けていきます。

共同代表 森本由美（福岡県北九州市議）
山田裕子（埼玉県越谷市議）

活動内容

- 1992年 2月：「全国フェミニスト議員連盟」結成
8月：第1回サマーセミナー（以降、毎年開催）
- 1999年 女性と政治キャンペーン（統一地方選挙がある4年毎に開催）
- 2003年 女性議員増への施策等について各地の女性センターへ調査
- 2006年 NWECC（ヌエック 国立女性教育会館）男女共同参画のための研究と実践交流フォーラム（ほぼ毎年参加）
- 2012年 1月：第1回パワーアップ集中講座（以降、毎年開催）
- 2015年 自治体議会における性差別体験アンケート報告集発行
- 2020年 「新型コロナウイルス感染対応に女性の声の反映を求める緊急要請書」を提出
- 2021年 8月：千葉県警交通安全動画 抗議・公開質問状を提出
10月：オータムセミナー（第29回サマーセミナーに相当）
@東京都 市川房枝記念館
- 2022年 5月：設立30周年総会記念講演会
6月：参議院選挙に向けた政党アンケート

- ◆ 機関誌「AFER」発行（年4回）
- ◆ 女性議員ゼロの自治体訪問
- ◆ セクハラ根絶や女性議員増を促進する制度について要請、抗議、声明文等を国や各地の自治体議会などに提出
- ◆ 会員数約200名

議会におけるいじめ・ハラスメント調査報告書
2022年5月発行



千葉県警交通安全動画問題・記者会見
(2021)



世話人会

地方議会 都道府県別 女性議員マップ 2022年度版

総務省資料(2021年12月31日現在)より抜粋

地方自治体
女性議員総数

4,826人

地方自治体
議員総定数

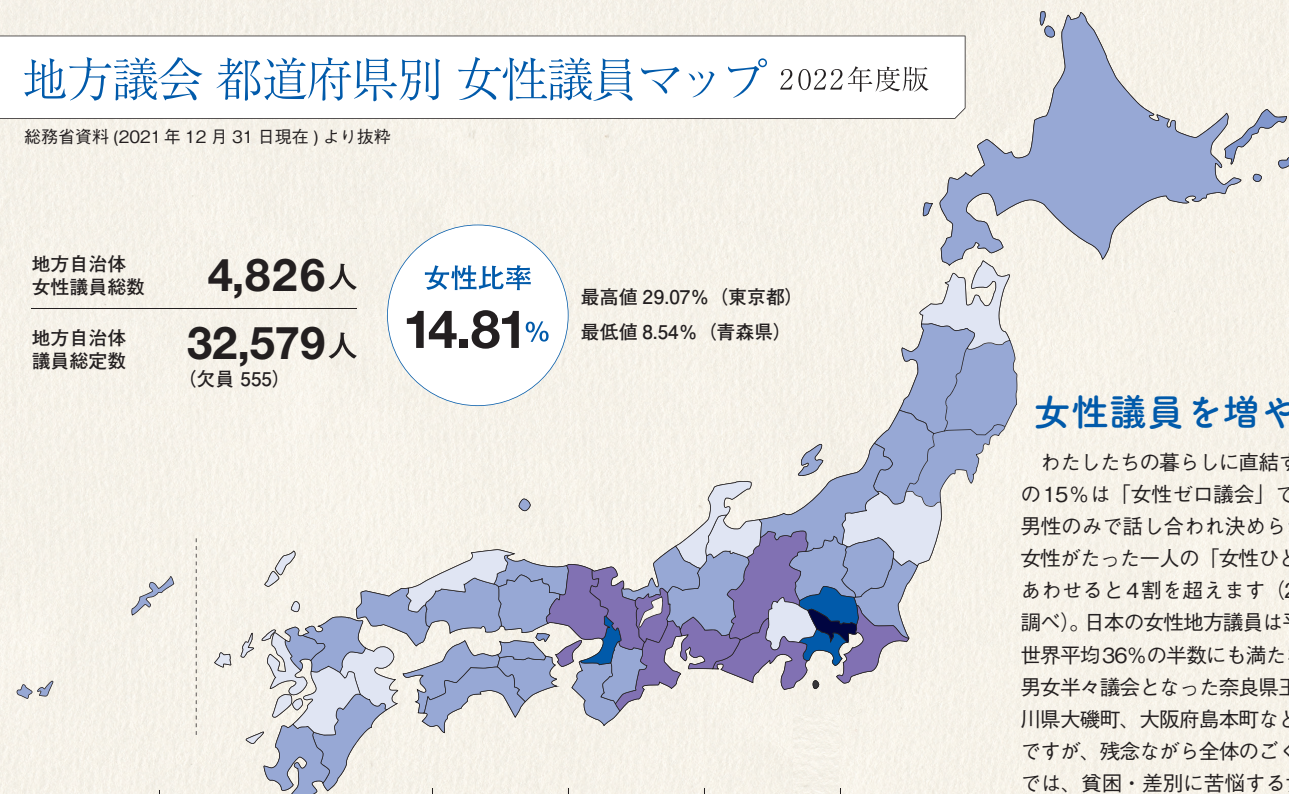
32,579人
(欠員555)

女性比率

14.81%

最高値 29.07% (東京都)

最低値 8.54% (青森県)



調査時点	2003年6月	2007年12月	2015年12月	2018年5月	2019年12月	2021年12月
女性進出度		10.35% (統一地方選挙年)	12.44% (統一地方選挙年)		14.30% (統一地方選挙年)	14.81%
30%以上		なし	なし		なし	なし
25~30%未満		なし	1都	「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」制定	1都	1都
20~25%未満	【調査開始】 10% 超7都府県	1都	1県		1府2県	1府2県
15~20%未満	7~10% 10県	2府2県	2府2県		1府6県	1府7県
10~15%未満	4~7% 23道県	9県	1道8県		1道22県	1道25県
5~10%未満	0~4% 7県	1道31県	22県		13県	9県
5%未満		1県				

ジェンダー視点で政治を変える

エンパワメント

毎年、パワーアップ集中講座や地方で開催するサマーセミナーで、現場にいる方の話を聞くなど政策研究をしています。

つながりを力に

世代や当選回数、地域や党派やジェンダーを超えた集まりです。メーリングリストで情報を共有。会員専用のアーカイブもあります。

VOICE

出会えて感謝

日本の議会では女性はまだまだ少数派で、議会において孤独だったり、理不尽な対応を受けることがあります。そんな時、経験豊富なメンバーから応援やアドバイスを受けられ、とても心強いです。学びの多いフェミ議に出会えたことに感謝しています。

緒方ゆうか（熊本県熊本市議）

女性議員を増やそう!!

わたしたちの暮らしに直結する地方議会の15%は「女性ゼロ議会」です。今日も男性のみで話し合われ決められています。女性がたった一人の「女性ひとり議会」とあわせると4割を超えます（2020年当会調べ）。日本の女性地方議員は平均14.81%、世界平均36%の半数にも満たないのです。男女半々議会となった奈良県王寺村、神奈川県大磯町、大阪府島本町などは希望の光ですが、残念ながら全体のごく一部。これでは、貧困・差別に苦悩する女性の状況、超少子高齢社会、停滞する地方経済、環境の悪化等を解決できません。

一方、国会（衆院）に占める女性議員は9.9%、世界193カ国中164位で、世界26.4%、アジア21.2%の半分にも満たず、最下位レベルです。参院は、2022年夏の参院選後、全体の25.8%に増えたとはいえ、4人に1人に過ぎません。

「天の半分を支える女性」が政策を決める場に半数いてこそ、真の民主主義といえます。国連の言う「2030年まで50%」にむけて、女性議員を増やしましょう！